

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島小・中学校
児童・生徒数 23名
学校だより 6月号
令和3年6月22日発行

霧の中を行けば 覚えざるに 衣湿る

校長 下村 尚

今年は梅雨入りが早く、湿度の高い日々が続きます。学校裏のイマキラ岳に雲がかかる日も多いこの頃です。登校中の児童がイマキラ岳を見上げ、「今日は雲がかかっていない！梅雨が明けたの？」と叫んだことがありました。毎日雨が降り続くとそう思いたくなるのも当然です。すっきり晴れ渡る姿のイマキラ岳に朝を迎えてもらいたいものです。

霧は極小の水滴です。その中を歩いても、衣服がずぶぬれになることはありません。しかし、長時間歩くとどうでしょう。衣服はしっとりと濡れてきます。

私たちが児童生徒の躰や教育を考える時、「～をしなさい。」「～はしてはいけません。」などと言葉での様々な指導を考えがちですが、この言葉はそれも大事ではありますが、日頃の『環境』がもっと大切だということを教えている禅語になります。

さりげなくみんなの靴をそろえるお父さんお母さんや里親さん。記念日の食卓を飾る一輪の花。新聞や郵便物を持ってきてくれた子供への「ありがとう」の言葉。起きがけの「おはよう」、就寝時の「おやすみ」の挨拶。食事時の「いただきます」、「ごちそうさま」。こんな『霧』に包まれた児童生徒はどんな大人へと育っていくのでしょうか。



反対に、朝から小言。子供の短所だけが目に付く。他者と比較しての愚痴。テレビでの悪ふざけ番組の視聴。こんな『霧』の中で生活した子供はどうなるでしょう。

『しつけ』は『躰』と漢字で書きます。『身を美しく』と分解できます。なるほどです。今、皆さんの家族はどのような『霧』の中に包まれているのでしょうか。『笑い』、『挨拶』、『優しい言葉』、『助け合い』、『思いやり』、『我慢』、『厳しさ』、『協力』、『根性』…。宝島小中学校の児童生徒の環境はこんな『霧』に常に包まれてほしいと思います。

「書くことは宝なり」 From 校長室

水無月と言ってイメージすることは何でしょうか？今月の校長室の黒板には、小学5年生の田中光結さんの俳句の作品が紹介されています。また、校長先生が光結さんの作品「ポツポツとバケツの中に 音ひびき」から受けたイメージを色画用紙やダンボールを使って作品化しました。(写真右)「書くことは宝なり」、今年はこの言葉をキャッチフレーズとして書くことにこだわっていきます。新聞への投稿記事やコンクール作品はもちろん、ふだんの授業で取り組んだ作品や日記等についても紹介していきます。現在、「書くことは宝なり」は3号まで発行しています。ご期待ください。



水無月の季節感

子ども会海岸清掃

水泳学習に向けて、30日(土)に子ども会の計画を基に海岸清掃を実施しました。漂流物や石の撤去など、手作業で難しいところは重機を使って作業を進めていきました。草払いも行われ、海水浴場の施設を気持ちよく使用できる環境が整いました。

このようにして、学校の学習や行事をスムーズに行うことができるのも島民の方々の協力があってこそです。いつも温かいご支援に感謝いたします。ありがとうございます。



重機も使った清掃の様子

水泳学習がスタート！

エメラルドグリーンに輝く宝島の海で、今年も水泳学習が始まりました。今年の水泳学習は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応により、「安全面」を万全にして指導に当たっていきます。先日、島民の方々の海岸清掃への協力をいただき、大変きれいになった大籠海水浴場で、児童生徒たちは蒸し暑さを吹き飛ばすかのように、学年に応じた練習メニューを元気いっぱいに取り組んでいました。今年の練習計画はトータルで5回計画され、着衣水泳も実施されます。7月5日(月)の水泳大会に向け、一人一人が自分の目標を立て、その達成に向けて児童生徒はそれぞれ泳力向上に励んでいきます。

水泳学習の日の子どもたちの健康面につきましては、なお一層のご配慮をお願いします。第一回目の水泳学習では、たくさんの参観をいただき、子どもたちも張り切っていました。ありがとうございました。



小学1・2年生の様子

「いのち ふれあい授業」で感じたこと

今月の1日(火)、5、6校時に中学生を対象とした「いのち ふれあい授業」が実施されました。十島村役場の妊産婦支援専門員の大角ゆかりさんがTV会議システムを通して指導を行い、宝島診療所にお勤めの戸崎緑さん(助産師)が学校での実技指導にあたってくださいました。授業では、人の命が誕生するまでのことを映像や実技を交えながら深く学ぶことができました。出産時の映像では、感動的な赤ちゃん誕生の場面、また、妊婦体験では、実際に階段を上り下りしたりしたことで、「これほどの重量感を感じながら生活しなければいけないのか。」ということを実感できました。授業後の感想文では、生を受けたことへの「感謝のことば」が綴られていました。「これまでの自分、これからの自分」について考えるととてもよい機会になったのではないかと思います。

授業を計画、指導してくださいました大角さん、戸崎さん、本当にありがとうございました。(写真右上:妊婦体験、写真右下:赤ちゃんの着替え)



7月の行事予定表

- 5日(火) 水泳大会
- 10日(土) トカラ集会(平島)
- 13日(火) 島内職場体験学習(中学生)
- 14日(水) かごしま県民の日

- 20日(火) 終業式 大掃除
- 22日(木) 海の日 ワクチン接種(中学生)
- 23日(金) スポーツの日
- 27日(火) 県総体(バドミントン)